



# 琥珀と石



新宮市立医療センター  
院長 北野 陽二

皆さま明けましておめでとうございます。昨年は世界的に重大なニュースが幾つかありました。ロシアによるウクライナ攻撃は未だ終息を迎える様子もありません。さらにはパレスチナ自治区のガザではハマスによるイスラエル襲撃で数千人の犠牲者が出ています。またアフガニスタン地震、モロッコ地震でも各々数千人、リビアの洪水では2万人超の犠牲者が出たと言われています。中国でも洪水被害が相次いでいるようですが、被害状況はわからない状態です。マウイ島の火災では1300人が行方不明となっています。

日本ではビッグモーター事件、ジャニー喜多川性加害事件などの事件が起っています。なんか暗い話題が多いですね。

一方、新型コロナウイルス感染症は昨年5月より5類に引き下げとなり、今後は“コロナとの共存”で臨機応変に診療体制を改善していくことが重要です。当院では、昨年10月からはコロナ専用としていた6階病棟を地域包括ケア病棟として再開することが出来ました。

この地域でも熊野花火大会をはじめとした多くのイベントが再開され、市内も徐々に日常が取り戻されてきた感があります。

ところで“熊野”とは紀伊半島南端部の和歌山県南部と三重県南部からなる地域のことで、熊野三山を中心とする信仰の中心地として知られています。世界遺産にも登録されており風光明媚で素晴らしい地域であることは言うまでもないことです。

同時にこの地域は日本でも有数の過疎地であります。65歳以上の高齢者が2025年では全国平均30%に対して40%、2045年にはなんと50%に達すると予測されています。さらに医療においても“陸の孤島”と呼ばれており、救急車では和歌山医大までは約3時間を要し、患者搬送のためのヘリコプターは天候不良で容易に使用できなくなります。台風などで陸路も寸断されがちです。そういう地域だからこそ、「この地域の医療はこの地域で全うする」という地域完結型が重要です。

当院はこの地域の急性期医療を担っており、さらに災害拠点病院でもあり、この方向性は今後も変わりありません。これを維持するためには高度な医療提供の継続が必要で、そのためにはスタッフの拡充が不可欠です。

医師においては和歌山医大との緊密な連携が必要です。看護師やコメディカルの確保には現状ではコマースが足りていないように思います。やりがいがあり、働きやすい病院であることをもっと宣伝していく必要があります。さらに他の地域からの移住などにも対応できるよう住居確保や手当なども前向きに検討していきたいと思えます。新しいスタッフが増えれば、新しい風が吹き、この病院もより活性化していきます。今後は病院として広報活動の拡充にもさらに力を入れていきたいと考えています。

病院という建物は一つでも中には多くの“部署”があります。その一つ一つが活性化することで連鎖反応が起こり病院全体に広がっていきます。各部署においても“チャレンジ精神”で新しいことを始めましょう。

皆さん！ 今年“チャレンジ”の年にしましょう!!

## 医療センターからの お知らせ

内科、循環器内科、呼吸器外科及び眼科（火曜日のみ）の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。腎臓内科、脳神経内科及び皮膚科（火曜日のみ）の受診には、地域医療連携室を介した紹介予約制です。救急の場合は、この限りではありません。直接、救急外来に電話で相談してください。

### —基本理念—

私たちは、すべての患者さんの安全と権利を守り、良質な医療環境のもとに、安心して適切な医療が受けられる病院をめざします。

### —基本方針—

1. 患者さんと職員の安全確保
2. わかりやすい説明の工夫と守秘義務の順守
3. 医療の質の向上、チーム医療の充実、全人的医療人の育成
4. 地域医療の連携強化
5. 自治体病院としての公共性を追及

## 診療科紹介

### 泌尿器科

泌尿器科は現在2名の医師で構成されており、新宮市、東牟婁郡および三重県と奈良県の一部の基幹病院として、泌尿器科疾患全般の診療をしております。

和歌山県立医科大学泌尿器科で作成された泌尿器科治療マニュアルをもとに治療および治療後フォローを行っておりますので、和医大と治療方針が同じ診療を提供することができます。

外来診察は、月曜日、火曜日、金曜日が終日、木曜日は午後行っており、泌尿器科救急疾患に対しては時間外でも対応しております。手術日は水曜日と木曜日です。1日外来患者数は約50名、年間入院患者数は約300名、年間手術件数は約150件です。大きな手術については、当院泌尿器科医師2名に加え、和医大または和医大関連施設より応援医師を招請して3名で施行しておりますので、地域の皆様には安心して治療に専念していただけます。

これまで当院では、尿路結石の治療としてはESWLという体外から衝撃波を与えて結石を破碎する治療のみでしたが、2020年秋からHo-YAGレーザーの導入に伴い、TUL（経尿道的尿路結石破碎術）も行うことができるようになりました。TULは結石を内視鏡で直接確認してレーザーで碎石するので、ESWLより碎石の確実性が上がり、同時に破碎した結石を摘出することが可能となりました。ここ数年においては年間50件程度のTULを行っております。

当科ではスタッフ一同、多くの患者さんから「ありがとう」と言っていただけるように一生懸命、最良の医療を提供できるように今後も努力してまいります。泌尿器科のご病気でお困りのことがあれば、ぜひ当科を受診してください。いずれの疾患に対しても真摯に対応させていただきます。



## 自衛消防訓練を実施

令和5年10月、夜間帯に病室から出火したというシナリオで消火・避難訓練を行いました。

はじめに病棟職員による消火器と消火栓を用いた消火活動を行い、それでも鎮火できなかったという想定の下、病院職員が、入院患者（訓練では病院職員が患者役を担当）を車いすや担架を使用して下の階まで搬送しました。

次に、消防職員より消火器と消火栓の正しい取り扱い方を学び、最後に訓練の講評を受けました。

当院では自衛消防訓練を年2回開催しており、万が一の際にも迅速に行動できるよう訓練を継続し、職員全体の防災意識を高めています。



# 職場ウォッチング

## 5階東病棟

5階東病棟は、心臓血管外科・循環器内科・整形外科の混合病棟です。

当病棟では、「整形看護」「心臓リハビリテーション・心不全看護」「認知症看護」の3つの看護チームを編成し、「チーム活動を強化し看護実践能力を高める」を目標に取り組んでいます。

### <整形看護チーム>

運動機能に障害を持つ患者さんが一日でも早く日常生活動作を回復することができるよう、入院早期から医師・リハビリテーションセラピスト・医療ソーシャルワーカーと情報共有し、治療やリハビリをサポートしています。

### <心臓リハビリテーション・心不全看護チーム>

心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士らと協力し、心臓の病気を持つ患者さんが健康管理しながら日常生活に復帰できるよう、患者さんに合わせた療養指導とリハビリを行っています。

### <認知症看護チーム>

近年、高齢化の進行とともに認知症患者さんが増加しています。認知症看護認定看護師、認知症対応向上研修修了看護師を中心に、認知症患者さんが不安にならないように寄り添い、安心・安全に過ごすための環境や生活リズムを整えるなどの関わりを積極的に行っています。

また、看護業務を安全かつ効率的に進めるため、“5S活動”にも取り組んでいます。スタッフ全員が5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の視点を持って病棟の環境や看護業務を整備することにより、快適な入院生活を過ごしていただけるよう「目配り、気配り、心配り」をモットーに頑張っています。



## 令和5年9月～10月

## 研修会



### 研修会報告

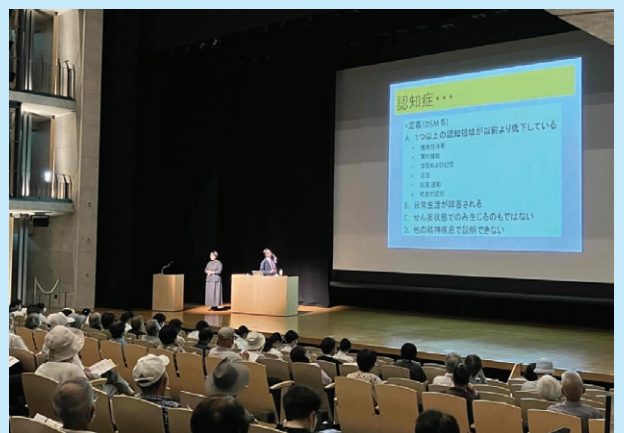
9月2日

#### 「認知症 お困りごととの付き合い方」

市民講座（新宮市共催）

講師：脳神経内科部長 石口 宏 先生

丹鶴ホールで開催された市民講座には約200人の市民の皆さんが参加されました。認知症とはどんな病気なのか、患者さんの症状に応じた対応の仕方、などのお話があり、メモをとったり、質問したり、みなさん熱心に聴講されていました。



10月

#### 「フィジカルアセスメント（呼吸器）」

講師：汐崎 未子 先生（HCU/救急外来看護師長）

呼吸の変化を目で見て、音を聞いて、触れて観察し、患者さんの病状を推察する“フィジカルアセスメント”の方法を動画で配信しました。

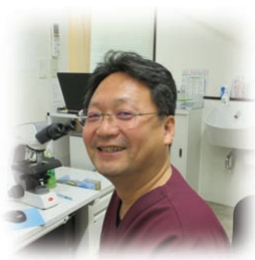
# 登録医のご紹介

## 新谷クリニック

新谷 寧世先生

📍新宮市橋本 2-5-54

☎0735-23-2226



当クリニックでは身近な問題の“尿が漏れる・出にくい”などの排尿障害治療、16列CTによる尿路結石の診断・治療、また近年増加傾向にある前立腺癌や膀胱癌などの悪性疾患の検査や治療まで、新宮市立医療センターと緊密に連絡をとりながら泌尿器科疾患全般に対する幅広い診療を行っています。



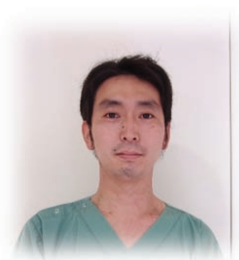
## 新宮市国民健康保険直営 熊野川診療所

田島 幸治 先生

📍新宮市熊野川町

日足 322 番地

☎0735-44-0314



当診療所は、僻地の地域医療を行っている入院施設のない診療所です。月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の午前中診療を行い、午後には寝たきりの方や高齢で診療所に来院できない方への往診や訪問看護を行っています。出張診療は毎月2回の金曜日と毎月1回の月曜日の午後に行っています。



## ◆◆◆◆新任医師の紹介◆◆◆◆



産婦人科 部長  
くろ だ たか ふみ  
**黒 田 高 史**

地域の皆様の産婦人科医療を支えていけるよう全力を尽くして参ります。

## ◆◆◆◆退任医師の報告◆◆◆◆

氏名	診療科・役職	退任日
飯田 泰志	産婦人科部長	令和5年9月30日

## 編集後記

2020年より猛威を振るった新型コロナウイルス（COVID19）も昨年5月よりやっとインフルエンザと同じ5類に移行し、社会的にはほぼ普通の生活に戻っているように見えます。

当センターでは5類移行後も何度かクラスターに見舞われ、山あり谷ありの状況でしたが、やっと落ち着きを取り戻したように思います（今の所はですが）。

「今年こそ平和な年になりますように」などと大それたことは望みません。

新年会とまでは言いませんが、「今年こそは4年ぶりの歓送迎会を楽しみたい」と思っているのは私だけでしょうか……？

(N)